



おしえて! 牛久市の ふるさと納税

牛久市のふるさと納税の現状や、今後の課題などについてご紹介します。

問 営業戦略課 ☎3230

そもそも
ふるさと納税
ってなに？

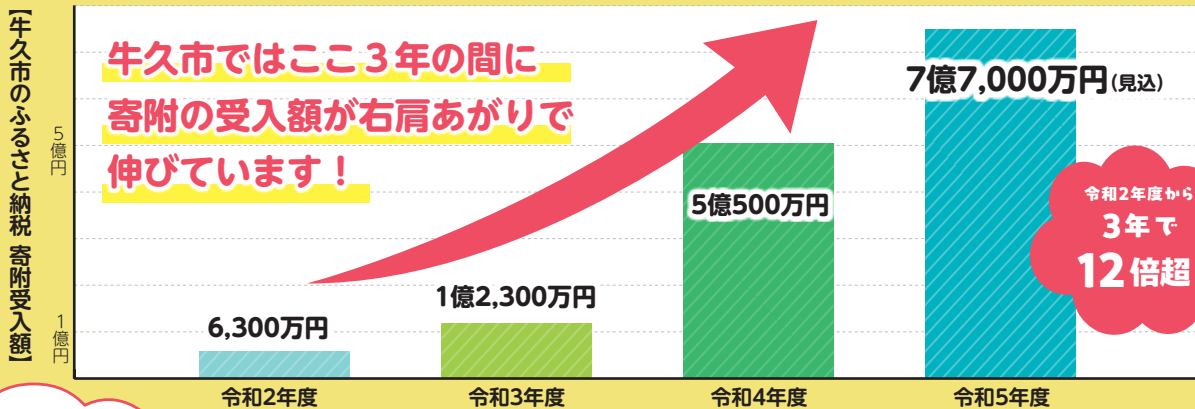


ふるさと納税とは、「納税」といいますが、実際には市町村などへの寄附のことを言います。寄附を通して、生まれた故郷や好きな自治体を応援することができ、制度です。

ふるさと納税をすると、自己負担額の2000円を超える部分について全額が控除の対象となります。

多くの自治体がそのお礼として、地域の特産品などの「返礼品」を寄附者に贈っています。

● 牛久市のふるさと納税の現状 ●



牛久市は寄附先として選ばれるまちに

上記の通り、牛久市では寄附の受入額が右肩あがり増加しています。農畜産物や加工食品などのほか、体験型の返礼品も数多くそろえ、全国の多くの方や企業から選ばれるまちになってきました。

また、返礼品を使った市のPRにも力を入れています。例えば牛久大仏の螺髪磨きの返礼品は、そのインパクトからテレビを始めとした多数のメディアで取り上げられ、牛久市のプロモーションに大きく貢献しています。

おとなり韓国でも、昨年1月から日本のふるさと納税をモデルに「故郷愛寄付制」が始まりました。成功事例として牛久市が選ばれ、3月7日、蔚山農協営農指導業務発展協議会が韓国から視察に訪れました。

海外でも牛久に注目!



地上120m 各メディアで紹介!

牛久大仏 最上部
螺髪お身拭い体験



寄附金額120万円
(牛久大仏と同じ高さの額)

寄附金活用状況



▲詳細はこちら

寄附金は、さまざまな事業に活用させていただいています

- 市内の公立小・中・義務教育学校に対するICT教育のためのタブレットPC導入や、生活安全対策としての防犯カメラの設置や通学路の整備。その他各種予防接種、「ミニユニバス」の運行、公園の整備、農業支援など、寄附者さまの思いを大切に、市民生活に役立っています。
- 《寄附金の使途の指定》
 - 健康づくりおよび福祉に関する事業
 - 環境の保全に関する事業
 - 生活安全に関する事業
 - 産業の振興に関する事業
 - 都市基盤整備に関する事業
 - 教育および文化芸術に関する事業
 - その他市長が定める事業



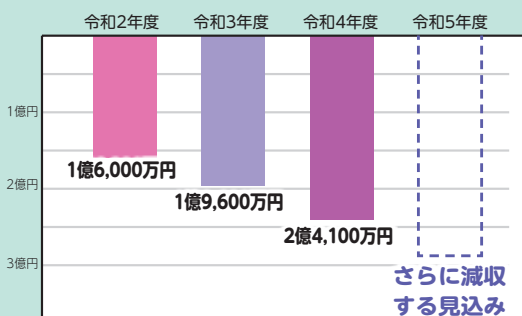


● ふるさと納税の課題と牛久市の対策 ●

喜ばしいことばかりではなくて…



市民が他自治体へ寄附することによる市税の減収額



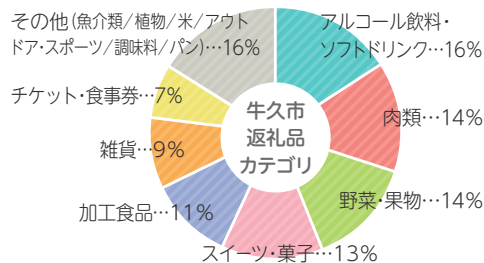
令和4年度の全国の自治体のふるさと納税受入額の合計は9654億円に達するなど、活用する寄附者はどんどん増えていきます。

牛久市でも多くの方から選ばれ、寄附額は増えていますが、逆に牛久市に入るはずの税金も、市民が他自治体へ寄附をすることで年々減少しています。4年度からは黒字に転じましたが、税収が大きく増加しているとは言いえない状況です。

そこで…

対策 寄附額を増やすために、魅力的な返礼品を増やしています

牛久市では、寄附額を増やすために、魅力的な返礼品の拡充に力を入れてきました。地元の事業者等と連携し、牛久産の美味しい野菜や果物をはじめ、スイーツやお酒、工芸品やアクティビティなど魅力ある600以上の返礼品を全国に発信しています。



事業者の皆さんへ！

牛久市ふるさと納税返礼品協力事業者を募集しています

牛久市では、ふるさと納税の返礼品協力事業者として協力していただく法人、団体および個人事業者を募集しています。返礼品の登録には国が定める基準を満たす必要がありますが、市内での飲食物の提供や施設利用、イベント体験やサービスの提供も可能です。

牛久の魅力発信にぜひご協力ください！

※返礼品に関する国の基準など、詳しくは市ホームページでご確認ください▶



さらに…

対策 企業版ふるさと納税を活用しています

企業版ふるさと納税とは、国が認定した地方公共団体の地方創生事業に対し企業が寄附を行った場合に、最大で寄附額の9割の法人関係税が軽減される仕組みです。企業にとっては節税効果だけでなく、社会貢献をアピールできる機会となり、大きなメリットがあります。牛久市では企業版ふるさと納税の受入も積極的に進めています。



「寄附」
「ありがとう」
「になります！」

本紙27ページに、令和5年度に牛久市に寄附して下さった企業を掲載しています

市民の皆さんへ

牛久市では令和6年度もさらに魅力的な返礼品やポータルサイトの充実を図っていきます。ぜひ、市外在住のご家族やご親戚、ご友人などに牛久市のふるさと納税をおすすめください。



農業の支援



予防接種



通学路の整備



タブレットPCの導入